

# 2021年度決算説明会

(2021年4月～2022年3月)

開催日：2022年6月2日

(東京都文京区小石川一丁目28番1号)

ジオスター株式会社

# 目次



1. 2021年度決算(P3~P13)
2. 2022年度業績予想(P14~P16)
3. 参考資料(P17~P26)

# 1. 2021年度決算



- ・2021年度の事業環境・・・・・・・・・・P4
- ・2021年度決算の概況・・・・・・・・・・P5
- ・連結決算概要・・・・・・・・・・P6
- ・受注高・受注残の推移・・・・・・・・P7
- ・連結貸借対照表概要・・・・・・・・P8
- ・連結主要経営指標・・・・・・・・P9
- ・キャッシュフロー計算書概要・・・・P10
- ・設備投資・減価償却の推移・・・・P11
- ・2021年度・期末剰余金の配当・・・・P12
- ・配当金の推移・・・・・・・・・・P13

## 【土木事業】

- 公共投資は高水準で実行された。

一時的に弱含みの兆しが見られたものの、補正予算を含めた関連予算の執行により、底堅い推移が期待される。

但し、以下の点は注視が必要である。

- ロシアのウクライナ侵攻の影響を含めた鉄筋をはじめとする資材価格の上昇。

- 新型コロナウイルス感染症再拡大に伴うリスク。

# 2021年度決算の概況



大型セグメントに留まらず中小セグメント、土木製品等の新規受注ならびに生産量の積み増しに加え、徹底した原価低減を行い収益力向上に努めました。

## ●事業環境への対応

- ・セグメント大型物件の遅れや鉄筋等資材価格上昇等の環境変化に的確に対応。
- ・ハイブリッド建材を含めた差別化製品の開発、市場投入を図る。

## ●土木製品需要

- ・土木製品の新規受注ならびに生産量の積み増しに努めると共に、調達改革・操業コスト削減・固定費適正化など徹底した原価低減を行い収益力向上に努める。

# 連結決算概要



(単位:百万円)

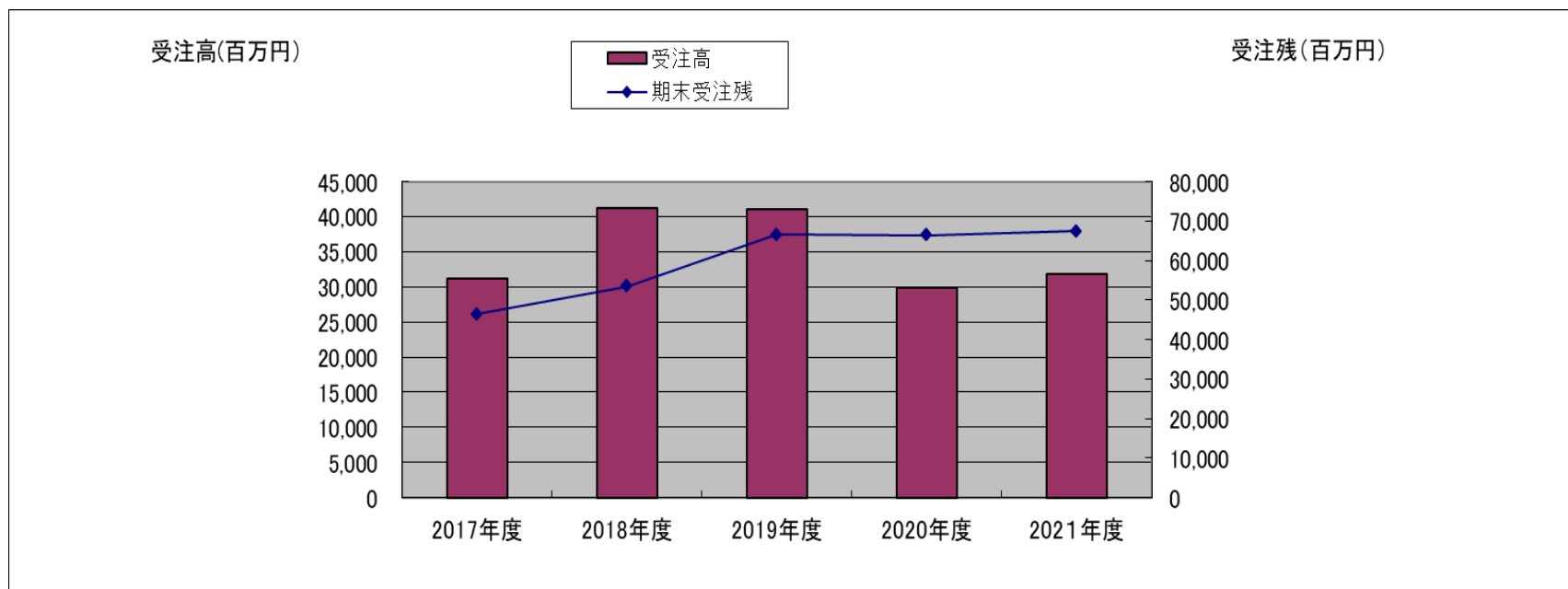
	2020年度 実績 A	2021年度 実績 B	前期比 C=B-A	増減率 C/A	2021年度業績予想公表値			予 想 公表値 増減率
					2021年 5月13日	2021年 9月3日	2022年 2月25日	
売上高	30,149	30,860	711	2.4%	33,500	33,500	30,500	1.2%
営業利益	1,764	2,204	439	24.9%	1,400	1,400	1,800	22.4%
経常利益	1,778	2,214	435	24.5%	1,400	1,400	1,800	23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	891	1,455	564	63.3%	900	900	1,150	26.5%
配当(円)	中間	-	-	-	未定	0.00	0.00	
	期末	8.50	14.00	5.50	未定	未定	11.00	
	年間	8.50	14.00	5.50	64.7%	未定	未定	

# 受注高・受注残の推移



(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
受注高	31,097	41,219	41,010	29,958	31,877
期末受注残	46,491	53,444	66,622	66,431	67,448



# 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

科 目	2020 年度	2021 年度	増減額	科 目	2020 年度	2021 年度	増減額
	A	B	B-A		A	B	B-A
現預金同等物	4,867	5,090	223	長短借入金	1,250	370	△ 880
受手・売掛金	7,628	8,201	573	支手・買掛金・未払	7,076	7,972	896
電子記録債権	—	2,052	2,052	その他	4,006	5,084	1,078
たな卸資産	8,259	7,670	△ 588				
未収入金	2,401	2,206	△ 194				
その他	168	271	103				
<b>流動資産合計</b>	<b>23,324</b>	<b>25,492</b>	<b>2,168</b>	<b>負債合計</b>	<b>12,332</b>	<b>13,426</b>	<b>1,094</b>
有形固定資産	7,659	7,546	△ 113	自己資本	20,585	21,722	1,136
投資有価証券他	1,933	2,109	175	その他有価証券 評価差額金	420	334	△ 86
<b>固定資産合計</b>	<b>9,593</b>	<b>9,656</b>	<b>62</b>	<b>純資産合計</b>	<b>20,585</b>	<b>21,722</b>	<b>1,136</b>
<b>資産合計</b>	<b>32,918</b>	<b>35,149</b>	<b>2,231</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>32,918</b>	<b>35,149</b>	<b>2,231</b>



# 連結主要経営指標



	2020年度	2021年度
自己資本当期純利益率 ( R O E )	4.4%	6.9%
総資産経常利益率 ( R O A )	5.6%	6.5%
売上高営業利益率	5.9%	7.1%
D/E レ シ オ	0.06倍	0.02倍
自己資本比率	62.5%	61.8%
有利子負債残高	1,267百万円	381百万円
期末総資産	32,918百万円	35,149百万円
期末自己資本	20,585百万円	21,722百万円

# キャッシュフロー計算書概要



2021年度は当期純利益及び減価償却費、その他営業キャッシュフローによりフリーCF13.7億円の収入となり、借入金の返済8.8億円、配当金の支払2.6億円により現金同等物は2.2億円増加し50.9億円となる。

(単位:百万円)

	2020年度 A	2021年度 B	増減額 B-A
税金等調整前当期純利益	1,285	2,165	879
減価償却費	687	696	8
減損損失	470	-	△ 470
法人税	△ 133	△ 1,140	△ 1,006
その他営業キャッシュフロー	1,421	266	△ 1,154
投資キャッシュフロー	△ 463	△ 612	△ 149
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>3,268</b>	<b>1,375</b>	<b>△ 1,892</b>
借入金等 返済・調達	-	△ 880	△ 880
支払配当	△ 157	△ 266	△ 109
その他	△ 9	△ 6	3
<b>現金同等物 増減額</b>	<b>3,101</b>	<b>223</b>	<b>△ 2,877</b>
現金同等物 期首残	1,766	4,867	3,101
現金同等物 期末残	4,867	5,090	223

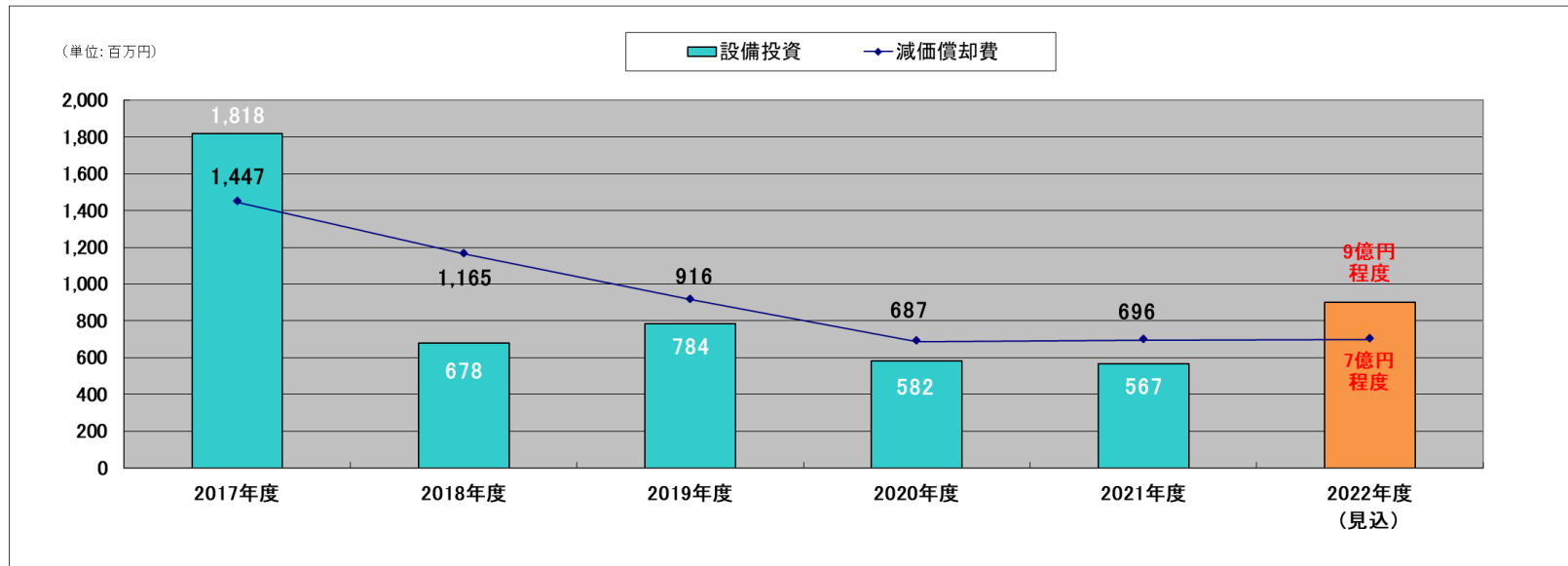
# 設備投資・減価償却の推移



2021年度は、5億67百万円の設備投資を実施いたしました。その主なものは、東松山工場、茨城工場、金谷工場のプロジェクト対応による設備投資となります。

(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (見込)
設備投資	1,818	678	784	582	567	9億円 程度
減価償却費	1,447	1,165	916	687	696	7億円 程度



# 2021年度・期末剰余金の配当



## 【利益配分に関する基本方針】

株主の皆様への利益還元方針をより明確化する観点から、2020年度の剰余金の配当から、利益配分に関する基本方針を見直し以下のとおりといたしました。

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針といたします。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

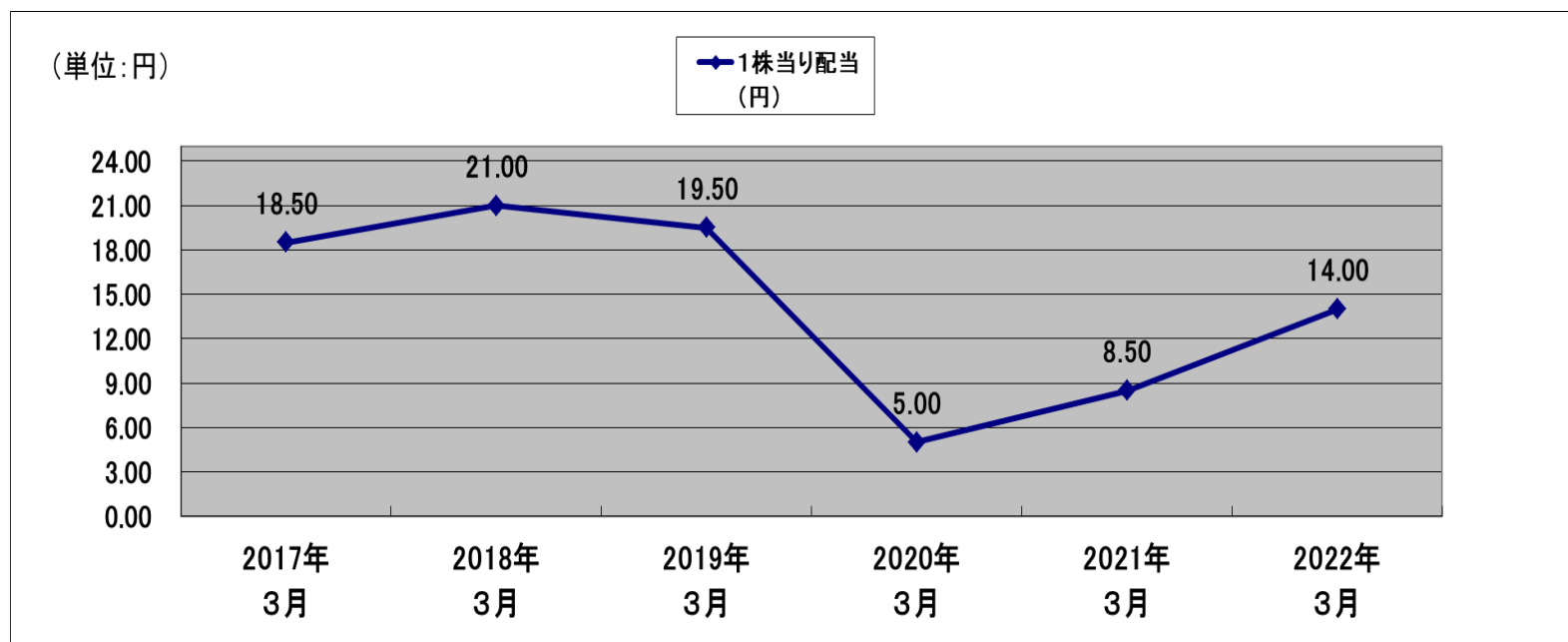
収益状況に対応した適正な配当の指標として

⇒ **連結配当性向年間30%程度を目安とします。**

# 配当金の推移



決算年月	2017年 3月	2018年 3月	2019年 3月	2020年 3月	2021年 3月	2022年 3月
1株当り配当(円)	18.50	21.00	19.50	5.00	8.50	14.00
(内中間配当額)	(5.00)	(5.00)	(5.00)	(-)	(-)	(-)



## 2. 2022年度業績予想



- ・2022年度の概況 ..... P15
- ・2022年度業績予想 ..... P16

# 2022年度の概況



## ●事業環境

売上高は横ばいであるものの、主力であるセグメント製品の市場環境の悪化に伴う収益率の更なる低下及びロシアのウクライナ侵攻の影響により鉄筋をはじめとする資材価格の上昇等から、営業利益・経常利益は減益の見込み。

## ●対策

- ・引き続き中小セグメントの新規受注並びに生産量の積み増しを進める。
- ・土木製品についても市場ニーズに沿った商品の開発・技術提案力の強化に努め、収益への貢献を図る。
- ・大型・特殊製品を設計に織込む専門部署による、技術提案力により土木製品の受注拡大に努める。
- ・徹底的な原価低減を行い収益力向上に努める。

# 2022年度業績予想



(単位:百万円)

	2021年度		2022年度			前期比	
	実績		業績予想(5/13公表値)			増減額	増減率
	A	比率	第2四半期 (累計)	通期 B	比率	C=B-A	C/A
売上高	30,860	100.0%	12,400	30,800	100.0%	△ 60	△ 0.2%
営業利益	2,204	7.1%	350	1,200	3.9%	△ 1,004	△ 45.6%
経常利益	2,214	7.2%	350	1,200	3.9%	△ 1,014	△ 45.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,455	4.7%	200	700	2.3%	△ 755	1.0%
配当(円)	14.00	-	未定	未定	-	-	-



# 参考資料



- ・今後予定される主なプロジェクト
- ・ジオスターの地下空間  
セグメント製品  
土木製品

# 今後予定される主なプロジェクト



## 1. 枚方トンネル

概要: 新名神高速道路

枚方市域の地下部を通過するシールドトンネル

区間: 大阪府枚方市～京都府八幡市

トンネル区間: 約4.5キロ

完成予定: 2027年

## 2. 多摩川トンネル

概要: 国道357号東京湾岸道路

東京都大田区羽田空港と川崎市川崎区浮島を結ぶ  
道路用シールドトンネル

区間: 大田区羽田空港～川崎区浮島

延長: 3.4キロ

完成予定: 未定

### 3.羽田空港アクセス線

概要:既存の鉄道ネットワークを活用し、羽田空港へのダイレクトアクセスを実現する鉄道

区間:東京貨物ターミナル～羽田空港新駅(仮称)

延長:約5キロ

完成予定:2029年

### 4.淀川左岸線延伸部

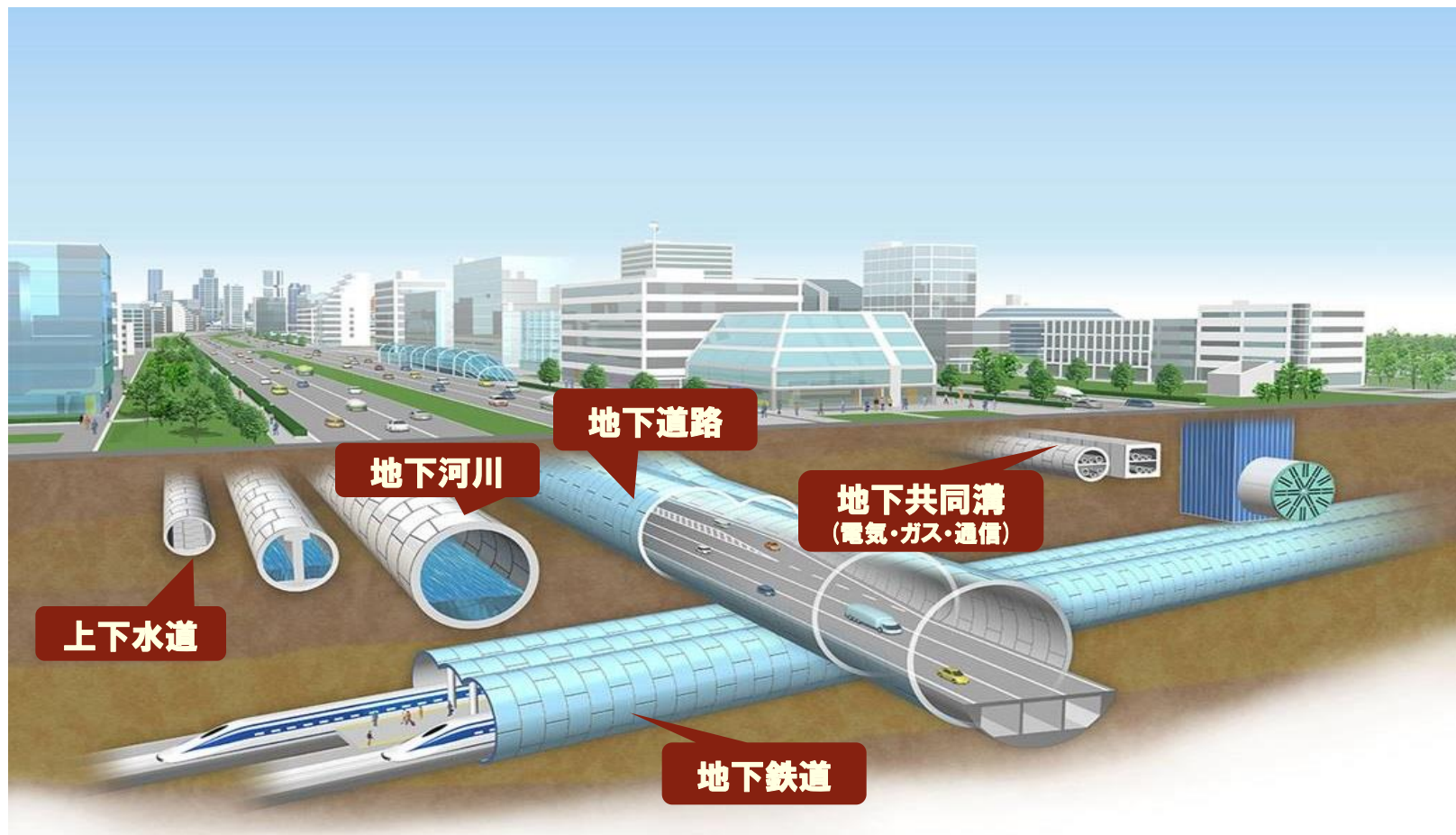
概要:阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路の門真JCTに接続する高速道路計画

区間:豊崎IC～門真JCT

延長:8.7キロ

完成予定:2032年

# ジオスターの地下空間



# セグメント製品



## ●RCセグメント

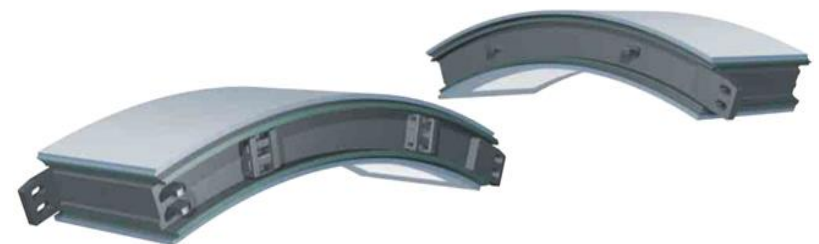


## ●スチールセグメント

## ●CPセグメント

## ●HCCPセグメント

## ●NMセグメント





# 土木製品



# 土木製品



- ボックスカルバート
- アーチカルバート
- L型部材
- 共同溝
- 防潮堤
- モジュラーチ
- ジオウエアボックス
- 矢板
- スラブ





# トピックス



P&PCセグメント工法+HDライニング技術を使用したセグメントが、矢作川総合第二期農地防災事業明治本流(上流部)シールド工事(2.7キロ)に採用されました！

## 【採用の経緯】

農業用水路として使用する為、内水圧が高くなり高剛性の合成セグメントとの比較検討となりましたが経済性に鑑みP&PCセグメント工法となりました。

## ➤ P&PCセグメント工法

開発者は、鹿島建設株式会社、三井住友建設株式会社、東亜建設工業株式会社、日本国土開発株式会社、SMCプレコンクリート株式会社、ジオスター株式会社の6社です。

### 特 徴

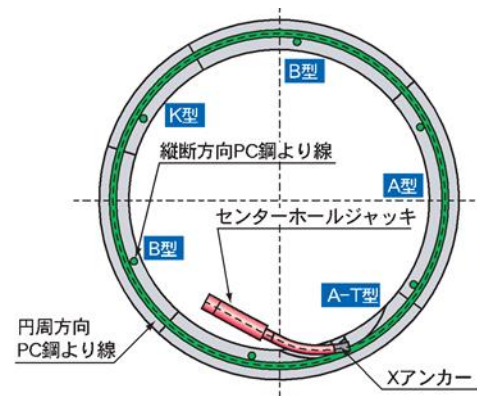
- ①剛性が高く止水性も高い
- ②高い内水圧に適用できる



PC 定着部 X アンカー



PC シース管





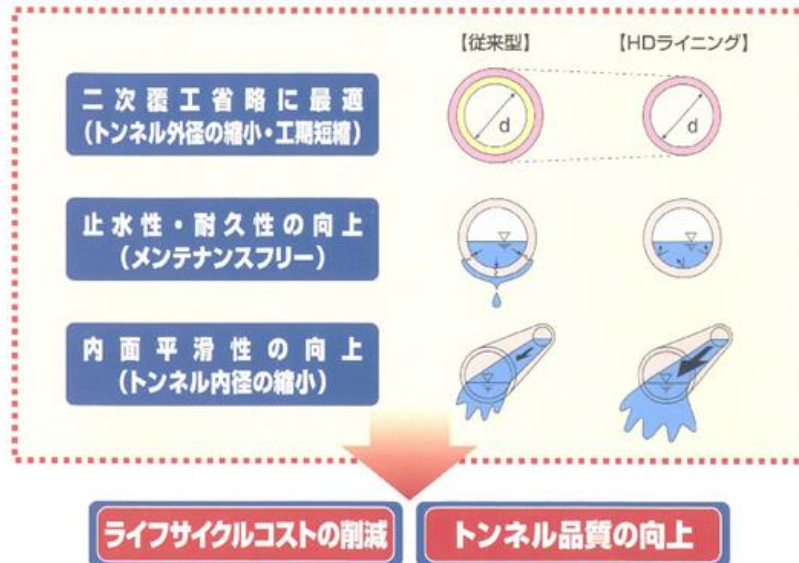
# トピックス

## ➤ HDライニング工法

開発者は、鹿島建設株式会社、タキロンシーアイ株式会社、IHI建材工業株式会社、ジオスター株式会社の4社です。

### 特徴

厳しい環境条件下でも二次覆工省略が可能



# トピックス

## ➤ 水密試験を実施

- セグメントを水平に3段仮組し、セグメントの内側に、内径よりも100mm小さな鋼管を入れ隙間に水を注入し、設計水圧の0.28MPまで作用させて漏水の有無を確認しました。
- 設計土水圧を想定して0.35MP作用させるために、セグメントの外周にPCより線で軸力を導入して試験を実施しました。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。